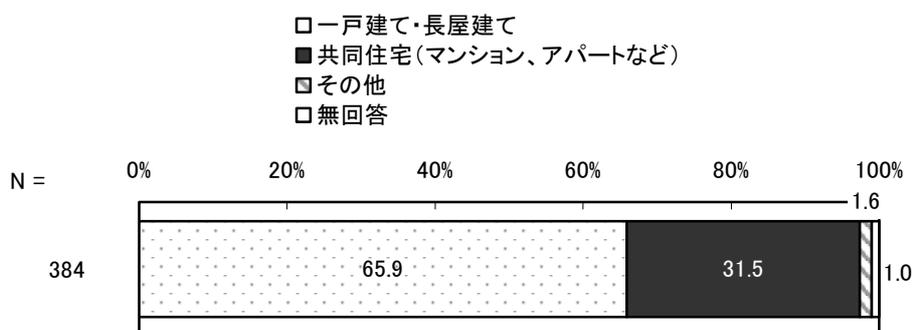


5 住宅用火災警報器の設置について

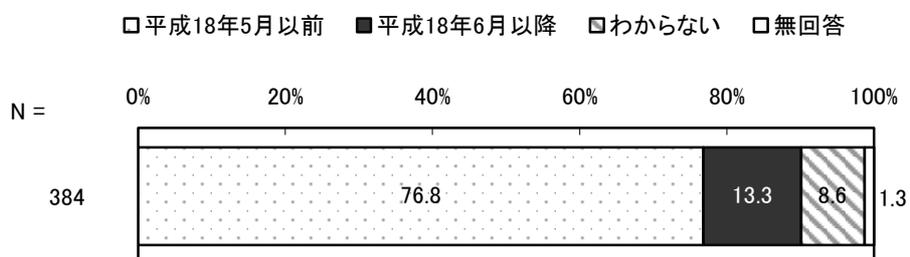
問7 あなたがお住まいの住宅は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「一戸建て・長屋建て」の割合が 65.9%、「共同住宅（マンション、アパートなど）」の割合が 31.5%となっています。



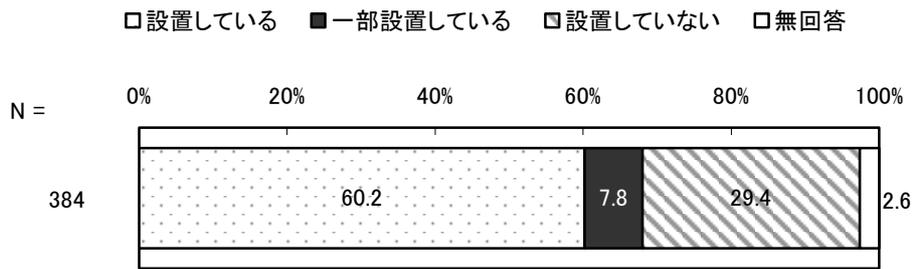
問8 あなたがお住まいの住宅が建てられたのはいつですか。(○は1つ)

「平成18年5月以前」の割合が 76.8%と最も高く、次いで「平成18年6月以降」の割合が 13.3%となっています。



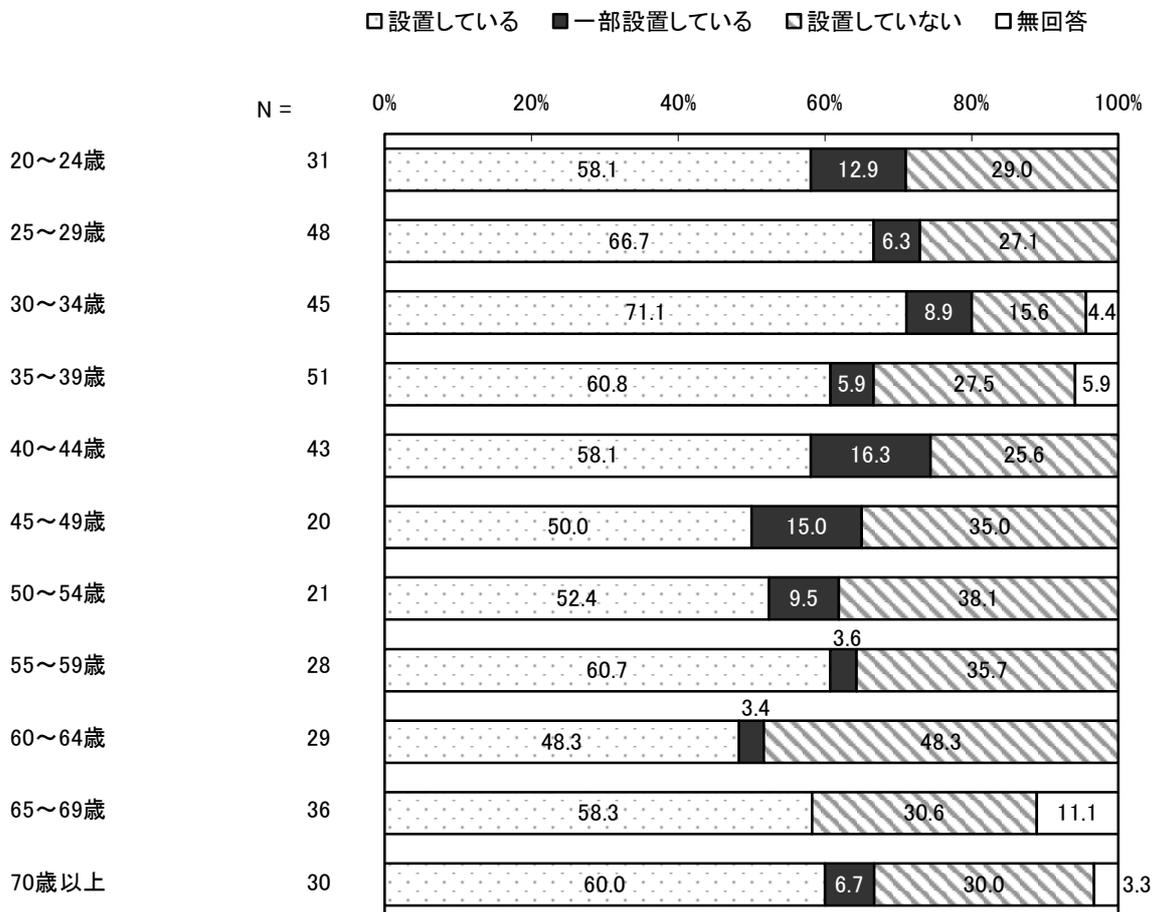
問9 平成21年6月1日から、住宅の次の場所（寝室、階段（寝室が2階以上の階にある場合））に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。
 あなたがお住まいの住宅には、上の場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。
 （○は1つ）

「設置している」の割合が60.2%と最も高く、次いで「設置していない」の割合が29.4%、「一部設置している」の割合が7.8%となっています。



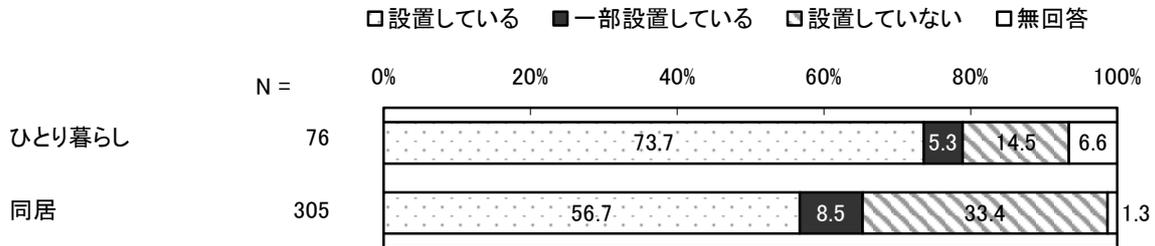
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で「設置している」の割合が高く、約7割となっています。一方、60～64歳で「設置していない」の割合が高く、約5割となっています。



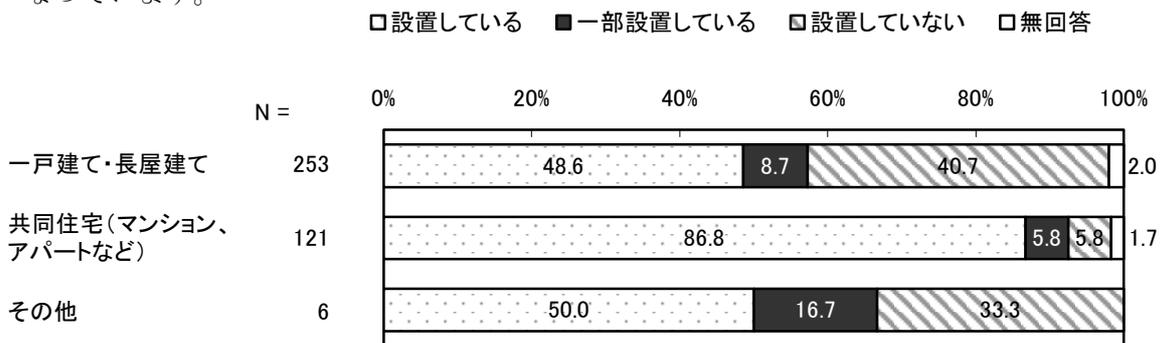
【同居別】

同居別でみると、同居世帯に比べ、ひとり暮らし世帯で「設置している」の割合が高くなっています。



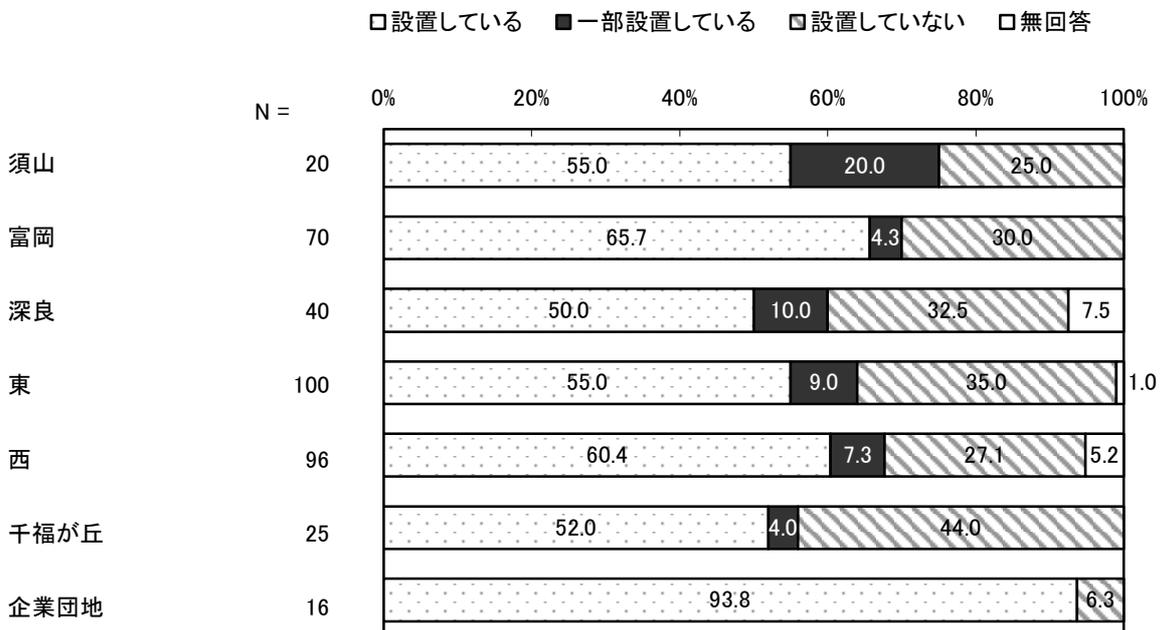
【住居の形態別】

住居の形態別でみると、共同住宅（マンション、アパートなど）で「設置している」の割合が高く、8割を超えています。一方、一戸建て・長屋建てで「設置していない」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

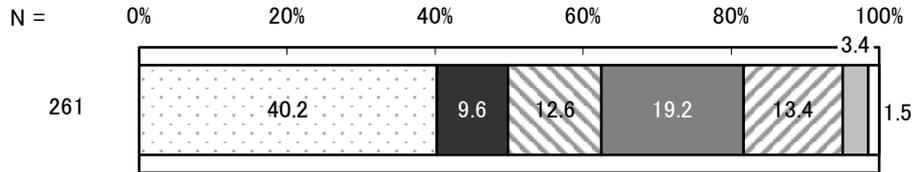
居住地区別でみると、他の地区に比べ、企業団地で「設置している」の割合が高く、9割を超えています。一方、千福が丘で「設置していない」の割合が高くなっています。



問9-1 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。
 どのような経緯で設置にいたりましたか。(〇は1つ)

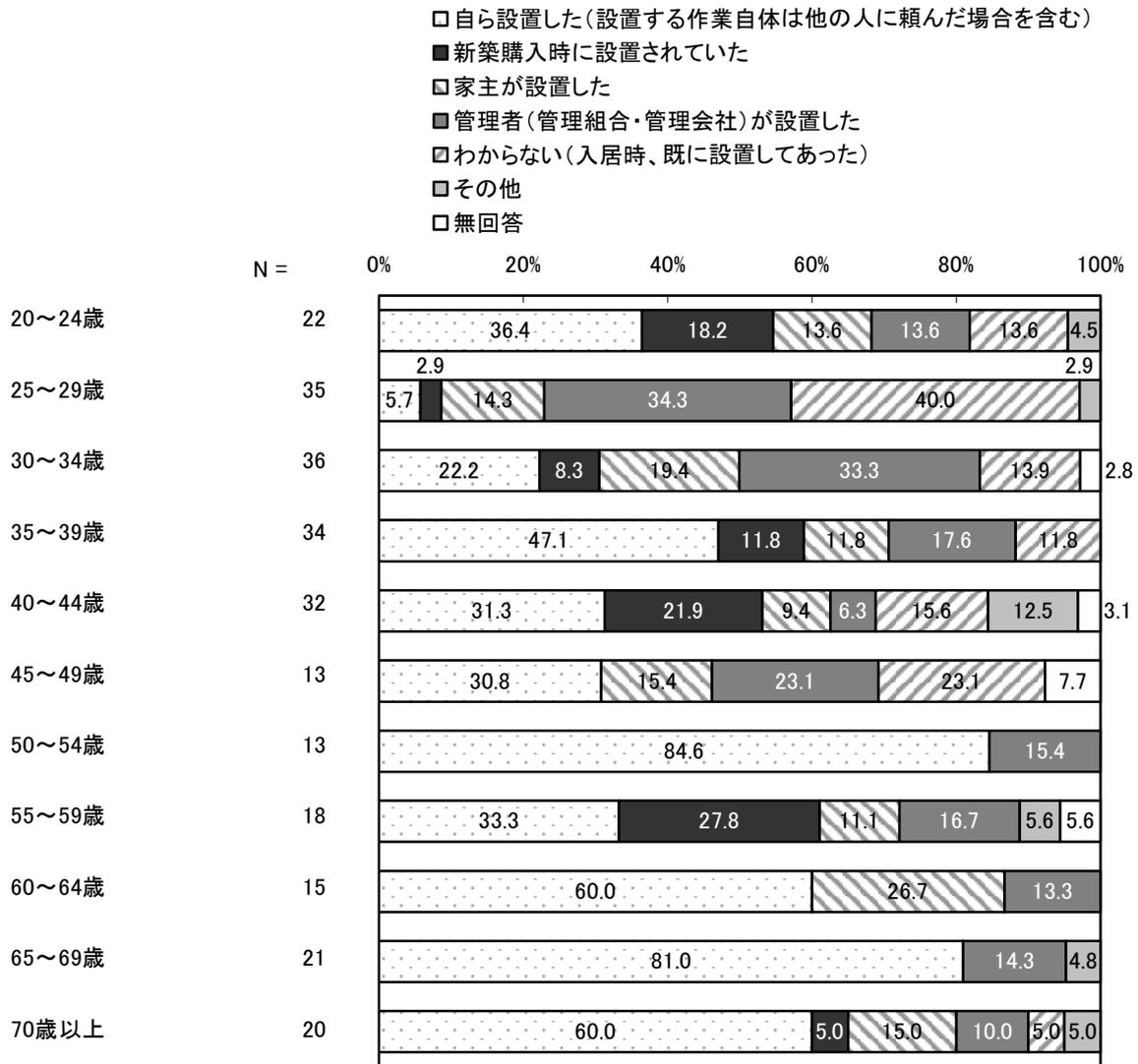
「自ら設置した(設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む)」の割合が40.2%と最も高く、次いで「管理者(管理組合・管理会社)が設置した」の割合が19.2%、「わからない(入居時、既に設置してあった)」の割合が13.4%となっています。

- 自ら設置した(設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む)
- 新築購入時に設置されていた
- 家主が設置した
- 管理者(管理組合・管理会社)が設置した
- わからない(入居時、既に設置してあった)
- その他
- 無回答



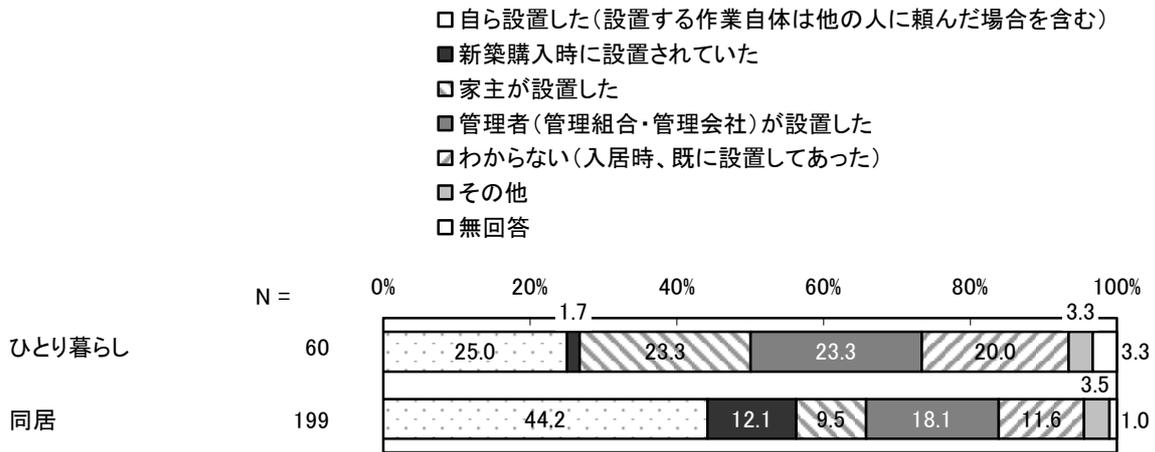
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54歳、65～69歳で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、8割を超えています。また、25～34歳で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高くなっています。



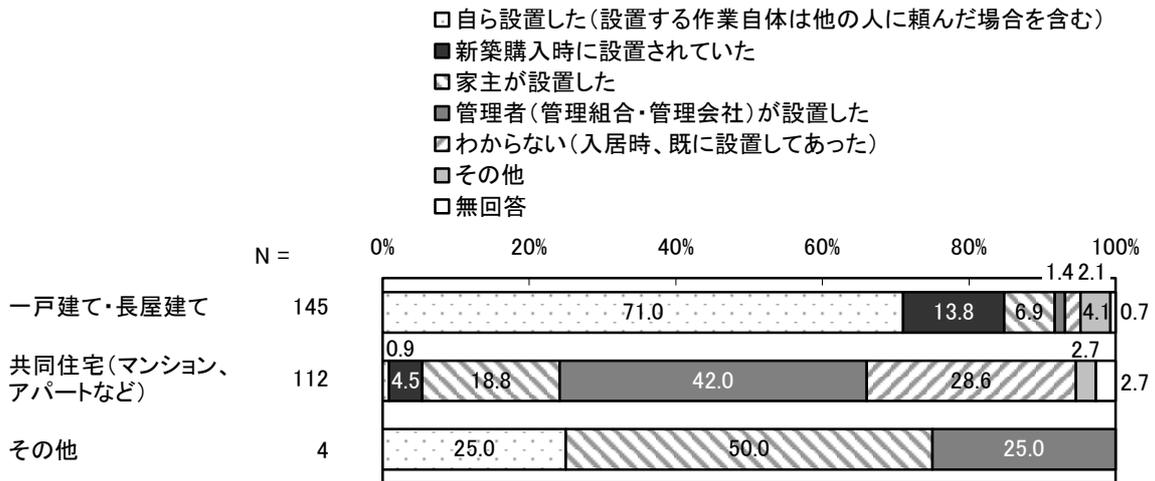
【同居別】

同居別でみると、同居世帯に比べ、ひとり暮らし世帯で「家主が設置した」「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」「わからない（入居時、既に設置してあった）」の割合が高くなっています。一方、ひとり暮らし世帯に比べ同居世帯で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高くなっています。



【住居の形態別】

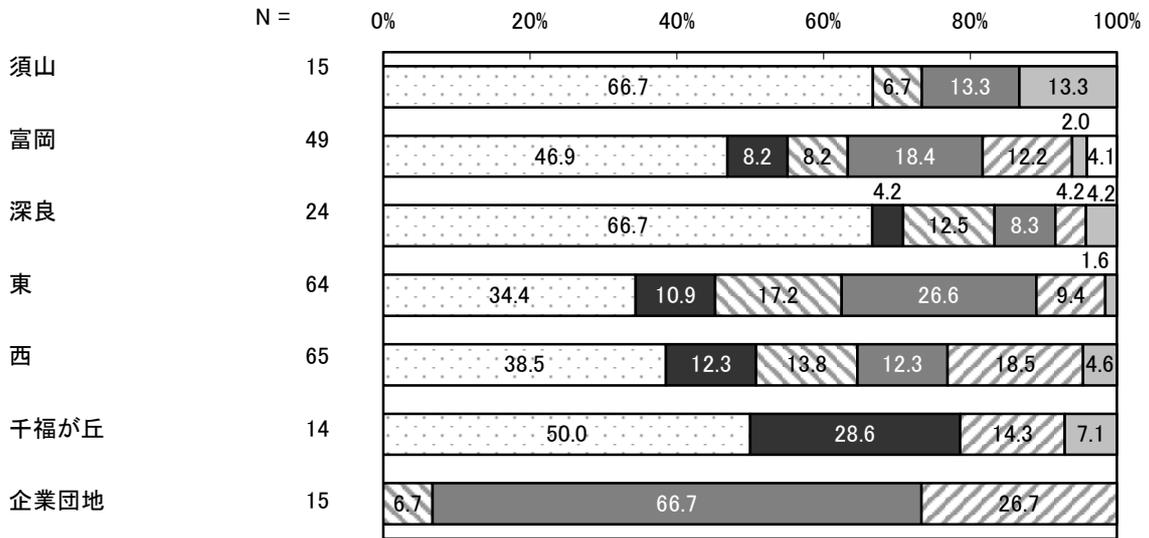
住居の形態別でみると、一戸建て・長屋建てで「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、約7割となっています。一方、共同生活（マンション、アパートなど）で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、深良で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が、千福が丘で「新築購入時に設置されていた」の割合が、東、企業団地で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高くなっています。

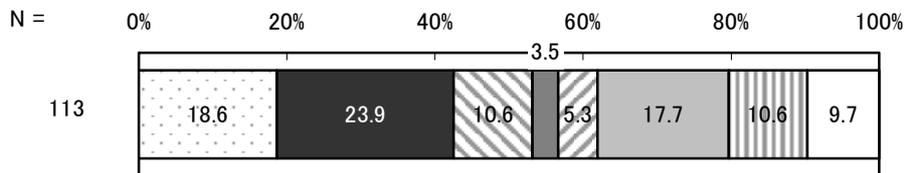
- 自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）
- 新築購入時に設置されていた
- 家主が設置した
- 管理者（管理組合・管理会社）が設置した
- わからない（入居時、既に設置してあった）
- その他
- 無回答



問9-2 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。
今のところ設置していない理由は何ですか。(〇は1つ)

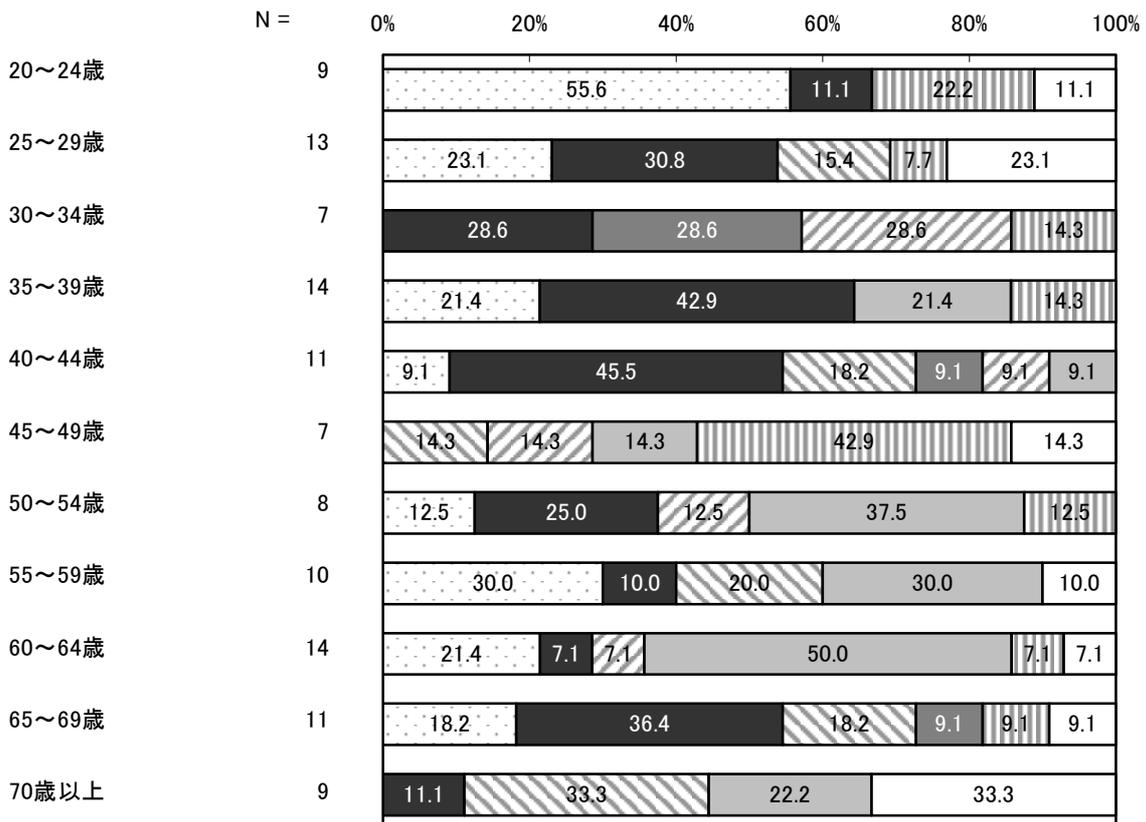
「設置費用負担が大きい」の割合が23.9%と最も高く、次いで「設置が義務化されていることを知らなかった」の割合が18.6%、「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が17.7%となっています。

- 設置が義務化されていることを知らなかった
- 設置費用負担が大きい
- 自分で設置することは難しい
- 購入方法がわからない
- 借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者が付けてくれない)
- 設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない
- その他
- 無回答



【年代別】

- 設置が義務化されていることを知らなかった
- 設置費用負担が大きい
- 自分で設置することは難しい
- 購入方法がわからない
- 借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者が付けてくれない)
- 設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない
- その他
- 無回答



【同居別】

同居別でみると、ひとり暮らし世帯に比べ同居世帯で「設置が義務化されていることを知らなかった」「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が高くなっています。

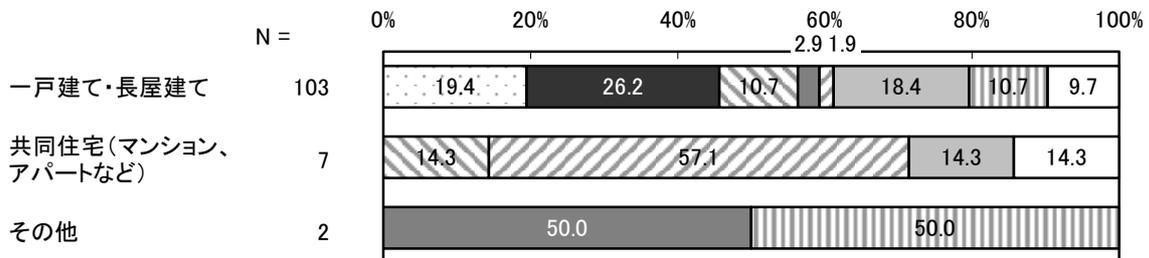
- 設置が義務化されていることを知らなかった
- 設置費用負担が大きい
- ▨ 自分で設置することは難しい
- 購入方法がわからない
- 借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者が付けてくれない)
- ▨ 設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない
- その他
- 無回答



【住居の形態別】

住居の形態別でみると、一戸建て・長屋建てで「設置費用負担が大きい」の割合が高くなっています。

- 設置が義務化されていることを知らなかった
- 設置費用負担が大きい
- ▨ 自分で設置することは難しい
- 購入方法がわからない
- 借家のため自分で設置してよいのかわからない(管理者が付けてくれない)
- ▨ 設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない
- その他
- 無回答



【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「設置が義務化されていることを知らなかった」の割合が、富岡で「設置費用負担が大きい」の割合が、深良、千福が丘で「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が高くなっています。

